

令和7年度（2025年度）第3回東海市3R推進協議会会議録

日時 令和8年（2026年）3月18日（水）

午後2時から

場所 市庁舎301会議室（3階）

1 出席者

(1) 協議会委員（10人）

榊原 弘之 委員長

酒井 雅代 副委員長

新井 宝造 委員

平井 正吉 委員

白羽 圭子 委員

龍田 昭一 委員

毛利 まり子 委員

坂野 栄生 委員

古賀 祐子 委員

追分 僚子 委員

(2) 事務局（3人）

林課長、小島統括主任、安井主任

2 欠席者

0人

3 傍聴者

0人

4 議題

(1) 報告事項

第5次東海市ごみ処理基本計画アンケート調査の結果について

（資料に基づき事務局から説明）

**【酒井委員】**

今回のアンケート調査の回収率が他の部署がアンケート調査をした時に比べて高いのかどうか教えてください。

**【事務局】**

ごみは身近なため、アンケートの回収率は高いです。令和6年度第7次総合計画指標アンケートでは一般アンケートが51.4%、令和6年度男女共同参画に関するアンケートでは現状値調査44.0%、現状値・基準値調査44.5%です。

**【龍田委員】**

発送数が前回3,000件で今回2,000件になったのは何か意味があるのですか。

**【事務局】**

市の指針に基づきアンケート調査票の発送数を変更しております。

**【榊原委員】**

報告書30ページ図3-1-1を見ると、天ぷら廃油や木材についてごみとして出している割合が高いのですが、これらは資源として出す方法を増やすなど具体的な方法は考えていますか。

**【事務局】**

天ぷら廃油については、皆様の後ろの窓際に置いているボックスを4月1日から中学校区に1つの割合で置くこととし、今まではドラム缶に入れて回収していましたが、それに加え、ペットボトルで持ってきていただいたものを置いていただき、そのまま回収するといった仕組みを試みたものです。中身としては、SAFという次世代航空燃料にしていきます。4月1日の広報にも掲載させていただきます。木材については、リサイクルセンター内に置き場がございます。昨年の9月から事業を開始しておりまして、後ほど報告をさせていただきます。

**【平井委員】**

天ぷら廃油の回収については、処理費のコストを考えるとプラスになるのですか。

**【事務局】**

プラスです。4月1日からSAFという形になりますが、今までもバイオディーゼルという形で販売しておりました。

**【追分委員】**

アンケートの自由意見を見ると、びんの回収について不便さを感じている方

が多くいるようで、回収先が無く、中々月に一度の地域の資源回収に持っていくことが難しいと感じるのですが、この当たりの手当を今後考えてはいますか。

【事務局】

今年度の計画策定の際に検討していきたい事項ではあります。

【酒井委員】

高齢者のごみ出し支援について、サポートする窓口が高齢者支援課と地域包括センターのみと狭められている気がします。高齢の方はインターネットが利用できない方も多いため、リサイクル推進課からもサポートしていただきたい。

【事務局】

今後検討させていただきます。

【新井委員】

高齢者のWEBの回答率を把握できるか。郵送を限定して送るとどうか。

【事務局】

年齢の把握はできません。今回からWEBでの回答を受け付けるようにしましたが、未だに紙での回答率の方が高いです。ただ、今後WEBも浸透していくと思います。

【毛利委員】

家族の人数によってごみ指定袋の枚数を変えることはできるか。

【事務局】

84ページを見ると、世帯別ごとの使用枚数ということで、7割ぐらいの方がごみ指定袋が余る・ちょうどよいと回答していますので、今後は可燃ごみ・不燃ごみで出しているものを資源化できるかが課題になると思っています。

【毛利委員】

今は常設場まで持って行っていますが、年を取るとそれができなくなるが、それについて市はどう対応するのか。ごみ集積場所にいくつかかごを置いて分別できるようにするのか。びんを置けるのか。若い世代ももう少しリサイクルについて学ぶという点からもよいとは思いますが。助け合いの精神からも必要かと思っています。

【事務局】

東海市のごみ集積場所は道路を借りていることもあり、箱を置くとかいうこと

が難しい状態です。今のところ拠点に持ってきていただくか集団回収に出していただく形をとっていますが、今後よい案があれば採用していきたいです。

**【酒井委員】**

行政だけでは限界があるため、企業、例えば、スーパーやシルバーの協力を仰ぎながら行う必要があると思います。

**【毛利委員】**

マンションでは、外国人への説明ですとか、オーナーがきちんと管理していただきたい。市からも指導していただきたい。

**【事務局】**

今は、ある一定のマンションや分譲地を作るときは、ごみ集積場所を作っている状態です。マナーが悪い方がいる場合は、管理会社を通じて我々から指導しています。4月1日に掲載予定ですが、11箇国ぐらいの外国人向けのガイドブックを作りました。日本福祉大学の先生と生徒に見ていただき、作成しました。ホームページでのダウンロードや転入者への窓口での配布を考えています。

**【龍田委員】**

てまえどりについて、同じ値段だと新しいものを買いたいと思ってしまいます。小売業者がもっときめ細かく値下げを実施すればインセンティブが働くと考えます。

**【事務局】**

おっしゃることは分かります。使う時の長さによって判断してほしいと働きかける取組です。

**【白羽委員】**

資源の引取りの際に羽毛のタグの表示が見えないとだめか。

**【事務局】**

はい。割合を把握するため表示が必要となります。

**【坂野委員】**

最近、町内会の役員の成り手がいません。町内会の業務を削っていく動きがあります。町内会に入ってもメリットがないと思われる方が多いです。非常に困っています。町内会の組織が無くなると、ごみ集積場所の設置を市で

決めていただく形になると思うのですが、このような場合はどのようにしていくのか、非常に悩んでいるところです。今までは、ごみ集積場所の設置を町内会で申請させていただいて運用していたところが、町内会が無くなると、申請もしないし、管理もできなくなります。そうすると、名古屋市みたいに自分の家の前に置いておくなど方法も考えていく必要があります。そこで提案ですが、管理をしている人に対してはごみ指定袋を無償とし、そうでない人には有償とするのも1つの手ではないかと思います。そうしていかなければ、段々と個人主義に走っていきます。それでは市も大変になってくると思います。企業も含めて、考えていく時期ではないかと思います。全体で考えていっていただきたいです。市民協働課等と話し合ってください、地域のあり方を考えていただきたい。それと、こどもの資源回収についてもあり方も考えていただきたい。

#### 【事務局】

町内会の解散については、最近増え始めていて、どのようにやっていこうか検討しなければならないのですが、ごみの置き場を決めずに家の前にとというのは、東海市では収集車が入っていけない道が多々ありまして、現実的に厳しい状況なので、どこかに置き場を定めて運用する形になるかとは思いますが。例えば、大府市では、町内会に依存せずに近隣の5世帯ぐらいで組を作って申請する形をとっています。そのため、東海市よりは面積は少ないですが、ごみ集積場所はかなり多いです。時間がかかってしまい、サービスが下がる可能性があります。

#### 【迫分委員】

町内会に入っていないなくてもごみを出すことはできます。東海市のごみ指定袋に入っていれば、どのごみ集積場所に出してもいいと理解しています。ただ、ごみ集積場所の管理というのは、私の地域では、戸建住宅を持っている世帯全体で掃除道具を回しています。

#### 【事務局】

おっしゃるとおり、町内会に入っていないなくても出すことはできます。ただ、どこでも出してもいいとは認めておらず、基本的に引っ越してきた方には近所の人にルールを聞いてくださいとしか伝えていません。町内会入るか入らないかは本人の自由で、入らない場合であっても、その地域のルールに従って、決

まったごみ集積場所に出してくださいと説明しています。

**【毛利委員】**

ごみ集積場所の管理は、善意の人で成り立っています。

**【酒井委員】**

きちんと管理をしないと、カラスの被害にも合って困ります。

**【古賀委員】**

アンケートの自由意見を見ると、4人世帯と2人・3人の世帯とが同じごみ指定袋配布枚数であることに不満を感じているようです。ただ、我が家では、紙やプラスチックを分別しているため足りなくなることはありません。他の市では、可燃用ごみ指定袋の名称を燃やすしかないごみ袋としている所もあるみたいです。確かにそうすると、分別を考えてから入れてもらえるようになるのではないかと思います。

**【事務局】**

それについては、最後の連絡事項でお伝えしようと思っていました。来年度に、ごみ指定袋の表記について、他の自治体を調査した上東海市でも有効か否か検討していきたいと思っています。

**【古賀委員】**

ごみ指定袋の一斉配布の際に、5人以上の世帯の40Lの5枚について、同容量交換するのが大変だったので、この機会に見直しを検討していただきたい。

**【事務局】**

意見として頂戴いたします。

**【平井委員】**

なぜごみ指定袋配布されるのですか。

**【事務局】**

ごみの減量として、配布枚数で収めていただきたいことが趣旨です。

**【迫分委員】**

東海市に財源があるからできることかと思えます。ただ、今回のアンケートの結果から、有料化に向けて進めていくこともできるのではないかと思います。

**【事務局】**

今のままだがよいと思われている人が結構多いです。東海市みたいに無料は珍

しいです。全国でも何箇所かしかないです。1枚いくらにして受益者負担という形もできます。量に対してお金を払うので、それが平等という考え方もあります。それは市の考え方だと思います。

**【追分委員】**

木材や天ぷら廃油の回収からして、東海市は努力している方だと思います。

**【事務局】**

東海市は、他の市と違い、粗大ごみの回収をごみ集積場所で行っています。それがあつため、ごみ集積場所の管理が大変になっています。それを考えると、サービスを落として行うことになる可能性もあります。

**【追分委員】**

西知多クリーンセンターに持ち込むようになってから、現金支払や車のナンバーの登録など手間に感じるこつが多く、出しにくくなりました。

**【古賀委員】**

登録は初回のみなので、一度利用すると便利です。

**【追分委員】**

おむつのリサイクルは今後されていきますか。

**【事務局】**

今全国的に広がりを見せているところで、どうするか今後課題としています。

**【酒井委員】**

前回の課題をどこまで達成できたとか、市民の御意見がどこまで反映されたのかが分かるような計画を策定していただきたい。ホームページを見ても、データが載っているだけで、アンケートを答えたことによる成果が分からない。そこが見えると、アンケートに答えて、社会が良くなったと感じてもらえると思います。

(2) 令和7年度（2025年度）の主な事業の実績について

（資料に基づき事務局から説明）

**【酒井委員】**

天ぷら廃油と違い、木材は回収しても市のプラスにはならないのですか。

**【事務局】**

はい。市の持出しになります。ただ、循環型社会の観点から必要な回収とな

っています。

**【平井委員】**

木材等の資源回収において、焼却炉の長寿化とあるのですが、具体的に何を目的で長寿化になるのですか。燃やしてよい木と燃やしてはいけない木があるのですが。竹、畳など塩素を含んでいるものはよくないです。

**【事務局】**

木材を燃やさずに資源化することで、燃やす量を減らし、焼却炉の長寿化を図ることを意味しています。

(3) 第5次東海市ごみ処理基本計画の策定スケジュールについて

(資料に基づき事務局から説明)

(4) 連絡事項

**【事務局】**

令和8年度におきましては、ごみ指定袋の表記につきまして、近年、他の自治体が導入し始めている『燃やすしかないごみ』等の表記を導入した場合に、どのような効果があるかを調査し、導入するかの検討をまいります。また、会議終了後、天ぷら廃油を入れるボックスを見ていただきたいと思います。

終了